

# 05-10 会議: 第 15 回山本高校 100 周年記念 事業準備委員会議事録 20250510

---

---

百周年記念事業 寄付金募集 ロゴ・スローガン選定

---

---

## 会議情報

- 日時: 2025-05-10 15:00:08
- 場所: [場所を入れてください]
- 参加者: [参加者を入れてください]

## 議事録

### 1. 山本高校百周年記念事業の準備と特定寄付金申請・資金調達

- 会長挨拶と周年に向けた意気込み  
会長が 39 人の参加者に感謝し、百周年に向けて活気が出てきていること、山高の存続や魅力維持のため OB・OG の協力を呼びかけた。学食の改修やクラブ支援など具体的な活動にも触れ、周年準備委員会で 100 人集める目標を表明した。
- 初参加者の自己紹介  
初めて参加した方々に自己紹介を依頼し、順番に簡単な挨拶が行われた。
- 百周年特別ホームページの進捗報告  
百周年特別ホームページの作成を広原さん中心に進めているが、資料が未配布で LINE で送付予定となった。
- 特定寄付金の申請状況  
特定寄付金の税額控除申請を国税局に進めており、5月7日に大阪府教育委員会への承諾書提出済み。食堂改修のための予算は 5000 万で、複数社から見積もり取得済み。認可は 7 月に見込まれ、日程がタイトであることが共有された。
- 寄付金用郵便局口座の再申請  
振込詐欺対策で郵便局の審査が厳しく、1 回目は否決されたが、山本北郵便局で再申請予定。担当者が山本高校卒業生 (39 歳) で協力的。再申請は 2025-05-13 に行う。

## 結論

1. 周年準備委員会で100人集めることを目指し、OB・OGの力で山高の魅力を守る方針。
2. 初参加者の自己紹介が完了。
3. 資料は未配布、LINEで送付予定。
4. 申請は進行中、認可は2025-07に見込まれる。
5. 2025-05-13に山本北郵便局で再申請予定。

## 2. 100周年記念事業の推進と寄付金募集体制の整備

- 寄付募集方法と進捗  
特定寄付と一般寄付の2種類で募集。特定寄付は税額控除が受けられるが手続きが煩雑。銀行口座は開設済み、郵便局口座も再申請中。
- 寄付金募集要項・金額の最終決定  
目標金額は特定寄付5000万円、一般寄付2000万円。特定寄付は一口5000円、一般寄付は3000円以上。募集期間は1年間、未達の場合は延長。
- 学校近況報告（校長挨拶）  
入試倍率や学校の現状、食堂業者の変更、ホームページリニューアルの進捗などについて校長より報告。
- 100周年記念事業ホームページの進捗  
100周年専用ホームページの構成案報告。寄付金集計や会議記録、残日数カウンター等を設置予定。8月の山積み入れ時に完成予定。
- 寄付金表記の修正  
特定寄付の『一口5000円以上』表記を『一口5000円』に修正。一般寄付は3000円以上で自由。
- 100周年記念事業ロゴ・スローガン案の検討  
ロゴ案8つをLINEアルバムで共有し、人気投票で3案に絞る。校長・教職員・学生・PTAの意見も反映予定。ロゴ制作費は10万円程度で依頼。

## 結論

1. 特定寄付の申請は進行中、銀行口座は開設済み、郵便局口座も再申請中。
2. 特定寄付は一口5000円、一般寄付は3000円以上で決定。文言は精査し、開放誌に詳細を掲載予定。
3. 今年度の入試倍率は1.17倍に上昇、食堂業者も新規選定し生徒要望の9割を1ヶ月で達成。ホームページは2025-05-31頃にリニューアル予定。
4. 8月の山積み入れ時に完成予定。意見は随時募集。
5. 特定寄付は一口5000円、一般寄付は3000円以上で決定。
6. ロゴ案は人気投票で3案に絞り、関係者の意見を募る。制作費は10万円程度。

### 3. 百周年記念事業ロゴ案の選定と今後の進行

- 百周年記念事業ロゴ案の検討  
百周年記念事業のロゴ案について、複数の案（A～H案、日浦くん案、生徒案）をテーブルに上げ、特徴や意図、色使い、マークの有無などを議論した。
- ロゴにおける工場マーク・名称の扱い  
ロゴに工場のマークや『山本ハイスクール』の名称を入れるべきか、歴史的経緯や現状、同窓会での扱いなどを踏まえて議論した。
- ロゴの色使い・印刷ルール  
ロゴの色使い（1色・2色）、印刷物や映像での指定色、ベースカラー（紫や青系）について意見交換した。
- 今後のロゴ案選定プロセス  
八案から三案に絞り、校長に意見を仰ぐ流れや、日浦くん案・生徒案も含めて選定することを確認した。
- 委員会開催の案内  
各種委員会の開催時間や会議体制について連絡があった。

#### 結論

1. 八案から三案に絞り、校長に渡して意見を聞く方針となった。工場のマークを入れることには全員賛成。
2. 百周年の歴史を重視し、工場のマークを入れることに全員賛成。
3. 用途に応じて色数を使い分けるが、8割は1色運用を想定。色番号は未決定。
4. 本日（2025-05-10）中に三案に絞り、校長に渡す。
5. 2025-05-10 15:40 より各種委員会を開催。

### 4. ロゴとスローガンの選定および決定方法の検討

- ロゴ案の選定方法  
ロゴ案10個から3つに絞る方法について議論。手の挙げ方やカウント方法、投票回数（1回、2回、3回）について意見交換があった。
- ロゴ案の内容確認  
スマホ上のアルバムに10個（9個、8プラス2などの表現あり）のロゴ案があることを確認し、斜めやまっすぐなどデザインの違いについても言及。
- スローガンの扱い  
スローガンをロゴに入れるかどうか、またスローガンの文字数（25以内が望ましい）やレイアウト（二行、横二両など）について議論。ロゴとスローガンは基本的に別で良いのではという意見が出た。

- 投票・カウントの進行  
投票の進行役やカウント担当を決め、実際に手を挙げてカウントを行い、案を絞り込んだ。
- ロゴ案の最終候補  
投票の結果、色違いの案やシンプルな案、斜めの案などが最終候補として挙げられた。

#### 結論

1. 最終的に2回まで手を挙げて投票し、上位3案に絞ることとなった。
2. ロゴとスローガンは別で進めることとなった。
3. 市川さんがカウントを担当し、2回まで手を挙げて投票を実施した。

### 5. 山本高等学校創立百周年記念事業の準備とスローガン・会報誌・

#### 寄付募集に関する議論

- スローガン・キャッチフレーズの検討  
百周年記念事業に向けたスローガンやキャッチフレーズについて、誰が誰に向けて発信するのか、内容や言葉選び、短くシンプルな表現の重要性、寄付金集めとの関係など多角的に議論された。
- ロゴ・スローガン案の現状  
ロゴ案は1つしか集まらず、スローガン案はAIや卒業生、先生から複数案が出ているが、決定には至っていない。
- アドミッションポリシーの表現  
「自主」「自由」「独立」などの表現の違いについて議論され、ホームページ等との整合性も話題となった。
- 会報誌への別冊 A3 挿入方法  
会報誌に A3 二つ折りの A4 四ページを追加挿入し、百周年記念事業の目標や概要、キャッチコピー、設計図面などを掲載する案が説明された。
- 百周年記念事業の目標と内容  
2027年の創立百周年に向け、記念事業の目標金融7000万、食堂リニューアル（テラス新設・エアコン設置）、設計図面の掲載などが説明された。
- 今後の会議日程  
次回会議は2025年7月4日に予定されていることが共有された。

#### 結論

1. 5月20日を目処に案を再募集し、実行委員会や校長先生に持ち寄って決定する方向となった。
2. 案を配布し、再度意見を募ることとなった。
3. A3 二つ折りの A4 四ページを作成し、記念事業の内容や目標金融7000万、食堂リニューアル（エアコン設置含む）などを明記する。

4. 目標金融 7000 万、食堂リニューアル（エアコン設置含む）をメイン事業とする。

## 6. 周年事業における食堂回収のための募金活動とメンバー拡大、寄付促進策の検討

- 会員向け資料の表現と内容の分かりやすさ  
多目的利用やコンセプトを網羅し、会員や読者に分かりやすい表現で資料を作成する必要性が議論された。
- 募集要項と特定基金の説明  
募集要項をビジュアルで分かりやすく表現し、特定基金の概要や税額控除の仕組みを詳細に説明する方針が確認された。
- 過去の募金実績と今回の目標  
創立 70 周年時の募金目標 90,000,001 円、実績 8,800 万～9,100 万円、特定基金で 5,000 万円を 2 年で達成した経緯を共有。今回も 5,000 万円を食堂回収で目標設定。
- 寄付金額と特典の設定  
過去は 3 万円以上で特典、今回は 5,000 円以上で募集。寄付額に応じてネームプレートや記念誌、式典招待などの特典を検討。
- 寄付集めの表現方法と広報戦略  
表現力が寄付集めの第一手段であり、動画やエピソード集、現役生の声など多様な方法で広報する案が出された。
- ふるさと納税やクラウドファンディングの活用例  
ふるさと納税やクラウドファンディングの返礼品や特典の事例を参考に、寄付額に応じた特典を検討する意見が出た。
- 税制上の控除と企業寄付  
所得税・住民税控除や法人税の損金処理について説明。企業からの大口寄付（50 万円、100 万円など）も対象にする方針。
- 記念グッズの活用と販売方法  
寄付金集めのための記念グッズの活用や、外部販売の可能性について議論された。
- メンバー拡大と参加促進  
寄付集めよりもまずメンバー拡大を優先し、周年委員会への参加を促す方法を検討。ノルマを課すのは時期尚早との意見。
- 縦横のつながり強化と参加呼びかけ  
クラブ活動や学年を超えた縦横のつながりを活用し、先輩・後輩間で参加を呼びかける方法が提案された。

### 結論

1. 今後も意見を集めて、分かりやすい資料作成を進める。

2. ふるさと納税と同様の税額控除を分かりやすく説明する。
3. 今回も 5,000 万円を目標に設定し、多くの寄付を集める方針。
4. 特典を設けることで寄付額の増加を狙う。
5. 次回以降も表現方法について審議・協議を継続。
6. 特典の導入を前向きに検討。
7. 企業寄付も積極的に対象とする。
8. まずはメンバー拡大と参加促進を重視。
9. クラブや学年を超えた呼びかけを強化する。

## 7. 同窓会百周年記念事業における寄付金集め・広報・参加促進策の検討

- 同窓会・総会の参加状況と課題  
同窓会や総会への参加者が少なく、特に若い世代や一度参加して以降来なくなった人が多いこと、また参加者リストの管理や声掛けの方法について議論された。
- 広報活動と情報発信の強化  
会議の様子や活動内容を広報誌や写真などで発信し、参加意欲を高める施策について話し合われた。広報誌に半ページ程度のスペース確保や、寄付者の名前掲載なども検討された。
- 寄付金・賛助金の集め方と返礼品  
寄付金や賛助金の集め方、金額ごとの返礼品（例：タオル、記念誌、クリアファイル等）、返礼品の送付方法や送料負担、業者委託の必要性、予算（400 万）内での運用について詳細に議論された。
- 寄付金額ごとの返礼基準と表現  
1 万円以上の寄付者への返礼品や、金額ごとの基準（例：1 万円、3 千円、5 千円、10 万円、100 万円等）、広報誌への記載方法、他校の事例（ヤオコー等）も参考にしながら検討された。
- 寄付金集めの現状と目標  
現時点で 400 万しか集まっておらず、過去の実績（70 周年で 8,800 万、今回の目標 6,600 万）とのギャップや、各回ごとの目標（例：26 回生で 100 万円ずつ集める等）の現実性について意見が出された。
- 今後の案作成と意見収集  
次回審議に向けてたたき案を作成し、LINE 等で意見を集めることが提案された。

## 8. 寄付事業の運営と記念品対応、会議後の懇親会運営

- 寄付に対する記念品送付と送料問題  
寄付者への記念品送付に関して、送料が無駄という意見が出た。1 万円以

上の寄付者には記念品を送ると既に記載してしまったため、送料を抑える方法や内容を検討する必要がある。

- 出来高制の導入提案  
記念品の発注数を事前に決めるのではなく、集まった分の5パーセントなど出来高制で対応する案が提案された。大量発注による在庫リスクを避けるため。
- 寄付金額・件数の実績報告  
過去の周年事業での寄付実績について報告。三年間で6370万、最終的に7025万、追加で1000万、合計7200万以上が集まった。3万円以上の寄付は635件、うち549人と86団体（企業含む）。100万円以上は7件、30万円以上100万円未満は10件、3万円以上30万円未満は618件。
- 高額寄付者への対応  
10万円以上の寄付者は名誉や名盤、トロフィーなどを希望する傾向があり、物品は不要との意見。昨年から10万円以上の寄付者は78人、全体で600人程度が寄付。
- 寄付金額による記念品の設定  
5000円以上、1万円以上の寄付者に記念品を送る案について議論。1万円に設定することで寄付額が増える可能性があるとの意見。
- 会議後の懇親会案内と会費  
会議後に懇親会を実施。参加者は事前に会費4000円を支払うよう案内。
- 写真撮影について  
会議風景の写真撮影を実施。事務所を通さないといけない人は横を向くよう指示。
- ドメイン取得とWeb対応  
110周年関連で別ドメインを取得し、クリーニングカードの案内を掲載する対応について話し合い。

## 結論

1. 執行部でたたき案を作成し、LINE上で意見を募り、最終的に執行部で判断する。

## 次回の予定

- [ ] 百周年特別ホームページの資料をLINEで送付予定
- [ ] 特定寄付金の国税局申請を進行、認可は2025-07見込み
- [ ] 寄付金用郵便局口座の再申請を2025-05-13に実施
- [ ] 特定寄付の郵便局口座開設手続きの継続
- [ ] 100周年記念事業ホームページの8月完成を目指す
- [ ] 寄付金募集要項の文言精査と開放誌への掲載
- [ ] ログオ案の人気投票と関係者への意見募集

- [ ] 2025-05-10 中にロゴ案を八案から三案に絞り、校長に提出して意見をもらう。
- [ ] 2025-05-10 15:40 より各種委員会を開催。
- [ ] 日浦くん案および前回生徒案も含めてテーブルに上げ、選定対象とする。
- [ ] ロゴ案を3つに絞った後、デザインをさらに検討し最終決定する。
- [ ] スローガンについては後日別途検討する。
- [ ] スローガン案を5月20日までに再募集し、LINE または個別で提出。提出が苦手な場合は直接送付も可。
- [ ] 集まった案を精査し、実行委員会や校長先生に持参して決定する。
- [ ] 会報誌にA3二つ折りA4四ページの別冊を追加し、記念事業の内容・目標金融7000万・食堂リニューアル等を明記する。
- [ ] 次回会議は2025年7月4日に開催予定。
- [ ] 次回以降、寄付集めの表現方法や広報戦略について引き続き審議・協議する。
- [ ] 記念グッズの活用や販売方法について三番・四番議題でまとめて議論する。
- [ ] メンバー拡大のため、クラブや学年を超えた呼びかけを強化する方法を検討する。
- [ ] 寄付金額ごとの返礼品基準を次回までに決定する必要がある。
- [ ] たたき案を作成し、LINE 等でメンバーから意見を集める。
- [ ] 広報誌に寄付者名掲載や活動内容の掲載を検討する。
- [ ] タオル等の返礼品の在庫・送付方法・業者委託の可否を調査・検討する。
- [ ] 執行部が記念品送付案を作成し、LINE で意見を募る。その後、執行部で最終判断。
- [ ] 懇親会参加者は会費4000円を事前に支払う。
- [ ] 110周年関連で別ドメインを取得し、案内を掲載する。

#### AI 提案

AIは、会議で結論が出ていない、または明確なアクション項目が不足している重要課題を以下の通り特定しました。ご注意ください：

1. 百周年記念事業における目標金額（6,600万～7,000万）達成のための具体的な集金計画や各回ごとの目標設定、リスク対応策が不明確であり、現状400万しか集まっていない中で、実現可能な施策の立案と進捗管理体制の早急な構築が必要です。
2. 特定寄付金の国税局申請および郵便局口座開設が未完了であり、認可遅延や再否決時の対応策、審査通過後の運用開始手順、進捗管理方法が明確になっていません。これらの遅延が全体スケジュールに与える影響も含め、リスク管理を徹底する必要があります。
3. ロゴ・スローガン案の収集・選定プロセスが不透明であり、最終三案選定の評価基準や選定手順、色指定、スローガンの作成・決定プロセス（文字数・レイアウト等含む）が未確定です。今後の広報・印刷・運用に支障が出るリスクがあるため、早急な基準策定と関係者への周知が求められます。

4. 寄付金額ごとの返礼品基準や内容、送付方法（特に遠方者への対応）、送料負担、業者委託の可否が未決定であり、寄付促進やコスト管理の観点からも、具体案の早期決定と広報誌等への明記が必要です。
5. 100周年記念事業ホームページおよびリニューアルサイトの進捗管理が不十分で、ページ構成や機能（寄付金集計、会議記録、残日数カウンター等）、資料配布・共有方法、業者との調整、遅延リスクへの対応策が明確になっていません。全員への確実な情報共有体制の構築も急務です。